



千葉ウエストワイズメンズクラブ 2021年6月 (No.9)

会長 高田一彦 国際会長 Jacob Kristensen (デンマーク) Values, Extension and Leadership
副会長 吉崎 勇 アジア太平洋会長 David Lua (シンガポール) Make a Difference
書記 内田久昭 東日本区理事 板村哲也 (東京武蔵野) 変化をたのしもう！
会計 長尾昌男 関東東部部長 柿沼敬喜 (東京グリーン) 学びと親睦を糧に外へ向かおう！
担当主事 小林和弘 千葉ウエストクラブ 高田会長主題 ワイズ活動を通じて地域への貢献を
*千葉ウエストクラブ連絡先 日本基督教団船橋教会 273-0865 船橋市夏見6-6-6
☎ 047-494-3586

今月の聖句 あなたがたは地の塩である。だが、塩に塩気がなくなれば、その塩は何によって塩味が付けられよう。もはや、何の役にも立たず、外に投げ捨てられ、人々に踏みつけられるだけである。あなたがたは世の光である。山の上にある町は、隠れることができない。
(マタイによる福音書第5章13節～14節)

千葉ウエストワイズメンズクラブ6月例会

<評価の月>

日時：6月19日(土)午後2時～4時

場所：日本基督教団船橋教会 信徒館

司会 守安久美子さん 受付 長尾昌男君

開会点鐘 高田一彦会長

ワイズソング・ワイズの信条

聖書朗読 高田一彦君

ビジター・ゲスト紹介

会長報告

YMCA報告

誕生日祝 小林雪絵さん、守安進さん

卓話「自己紹介」 吉崎勇君

協議 評価

・クラブの活動報告 高田一彦会長

・会計報告 長尾昌男君

ドライバー(ワンコインで各自の評価) 小林和弘君

閉会のことば 長尾昌男君

閉会点鐘 高田一彦会長

会場係 鈴木秀信君、高田一彦君

◎例会出席者は、高田会長 090-8509-0701

又はメール takawaizu@f7.dion.ne.jp
へお願いします

5月のデータ 会員8名

例会出席 8名

出席率：100%

ドライバー 5,800円 (累計:35,750円)

千葉クラブ例会にZoom参加

5月8日の千葉クラブ例会に、岡田、高田、長尾の3名がZoom参加し、遠藤優太(千葉Yリーダー)の卓話を聴きました。「北関東リーダー研修会」(活動歴1～2年のリーダー参加によるYMCA理解)と、千葉YMCA春のキャンプの感想で、千葉市少年自然の家で一泊二日のキャンプが二本(幼児～小学低学年と小学生全学年対象)実施されました。

健康ウォーキング

小林教師の説教

5月22日雨上がりの空の下、15人が集合し、谷津干潟一周と谷津バラ園へ。千葉クラブの青木ご夫妻と千葉ウエストクラブからは、長尾君と高田君の2人に新津田沼教会の方々でした。干潟一周は約3.5キロで、途中の自然観察センターに立ち寄り、暫しの干潟観察では、シギがちよこちよこ走り回って、えさをついばむところや、カワウが杭の上に止まっているのが観察された。さらに周辺を進んで行く途中では、数羽のカワウが

干潟のカワウ



谷津バラ園

ダイビングしながら魚を取っている光景も見られた。昼食の後、谷津バラ園に入り、満開のバラ数百種を堪能した。長尾君と高田は、お土産にバラの鉢を

購入した。余談ではあるが、今回教会から参加の林喜久代さんは、私の10年下の横須賀学院の後輩であることが、ひょんなことから判明し、話が弾んだ。(高田)

千葉ウエストクラブ5月例会報告

5月15日 14時～16時 於:船橋教会 信徒館
出席者:内田、岡田、小林、鈴木、高田、長尾、守安、
吉崎

鈴木秀信君司会のもとに、高田会長の点鐘により、定刻の14時に5月例会が開催された。ワイズソング、ワイズの信条に続いて聖書朗読が内田君によって行われた。会長報告では、「Change! 2022ニュース」の5月号に最近の新入会員として、内田君と岡田君の「入会してワイズの感想」が掲載されていること。第3回東日本区役員会(4/10)、第3回関東東部評議会(4/17)の報告。今月の強調テーマ「東日本区ワイズ基金」については、今月の区報に掲載されている「ワイズ基金」の紹介(高田JEF委員長)と、「ワイズ基金」紹介のチラシが配られた。小林担当主事からのYMCA報告では、4月から新たに千葉YMCAが受託した千城台のアフタースクールに小林君が担当することになったこと、小学生の屋外プログラム参加希望者は、コロナ禍のせいかわかって増えていたり、大学生(28名)や高校生(10名)のボランティアリーダーの応募が平常時より増えていることが紹介された。本日のメインの卓話は内田君の「自己紹介」で、一同、内田君の知られざる一面を聴くに及び、多数の質問が飛び交って会を盛り上げた。協議事項は法人化への移行についてのクラブとしての可否について話し合ったが、法人化へのメリットは考えられるものの、未消化の部分もあり、時期尚早ではないかとの事になった。また、クラブの活動を模索するヒントとして、SDGsについてのYMCAの考え方等を学ぶ機会を設けることになり、日程等は会長一任となった。ドライバーの近況報告では、コロナ禍に於いてZoom会議が多くなり、長時間座っているのが疲れるので、専用の椅子を購入したら大変快適であるとか、ワクチン接種の日程が決まったとか、市により接種の確保が難しかったりと、各種の話題に花が咲き、コロナ対策で窓を大きく開けていたせいか、蚊に刺されながらの例会の幕を20分超過して閉じた。

「自己紹介」

内田久昭君



門司生まれの野球と鉄道マニアの少年時代を経て、中・高では、地理歴史クラブに入り、発掘調査のボランティアで尼崎市の国指定の史跡を掘り当てた貴重な経験を持つ。関学大・大学院での化学専攻(タンパク質の研究)の延長で、糖化学の研究開発に携わり、発酵装置や酵素の輸出で中国、メキシコ、インド等へ出張。多忙の中で、58歳の時に多重癌が見つかり、胃の全摘出手術腎臓がんの腹腔鏡手術なども経験する。YMCA関係では、学生時代の神戸YMCAでの学生ボランティア活動や名古屋の教会のYMCAの仲間と障がい者のための福祉施設を立ち上げたことなど、多彩な人生を歩む。最近では、鎌ヶ谷市の車椅子点検整備のボランティアや千葉県生涯大学(家庭菜園)などに関わり、趣味としては山歩き、チェロ演奏等。

SDGs Workshop (Zoom) 6/2 19時～20時半

事務例会にてSDGsのYMCAの取り組みについて学びの場を持つことが決まり、光永東日本区担当主事に発題をお願いすることになった。「もっと知ろう! YMCAとSDGsの取り組み」と題して、熊本からのZoomによる講演となった。SDGs(Sustainable Development Goals)つてなに?ということ、持続可能な世界の実現のために国連で定められた世界共通の目標の事で、「持続可能な世界」とは、今現在、生活している私たちの要求を満たし、かつ、将来の世代が必要とする資産を損なうことのない社会のことを指す。そして、持続可能な社会実現のために、貧困から環境、労働問題までの17のゴールを掲げ、2010年の国連サミットにおいて全会一致で採択され、2030年の達成を目標とするものである。17のゴールに対しては、169項目の具体的な目標設定が数値化されており、YMCAが行っている種々のプログラムも全人的成長プログラムとして位置付けられると考えられる。ワイズメンズクラブとしては、他の団体のノウハウを学習し、他の団体の手法を観察し、ネガティブ(があるからポジティブもある)にも目を向け、共に生きる社会、共生できる社会に実現のためにまず行動することが求められるという結論であった。その後、質疑応答があり、有意義な時間を過ごすことができた。もっと他のYMCAで行っているプログラムを聴きたいということで、横浜YMCAの取り組みについてもいずれ話を聴くことになった。YMCAとワイズの関係においてもお互いに問題提起しあい、キャッチボールしながら、SDGsに取り組んでいくことが期待される。やはりYMCAとのパートナーシップを活かして社会貢献するという原点に戻ってくるのであろうか!

当日の参加者は、内田、岡田、高田、長尾、吉崎(5名)、青木(千葉クラブ)、森田(船橋教会)に光永講師の8名であった。

YMCA報告

- * 千城台アフタースクールが4月に開校し、5月も順調 (380名の在校生のうち72名が参加)
- * ボランティアリーダー19名が4月に卒業したが、新たに25名で夏期プログラムの準備を開始。
- * YMCA定期総会 6月12日(土)は中止。書面による決議とする。

今後の予定

- 6/12 東日本区代議員会 10時～12時
- 第24回東日本区大会 13時半～16時半
- 千葉クラブ例会 16時半～18時
- 7/8 事務例会(Zoom) 19時～20時
- 7/17 千葉ウエストクラブ例会 14時～16時
- 7/31 関東東部第一回評議会 13時半～17時